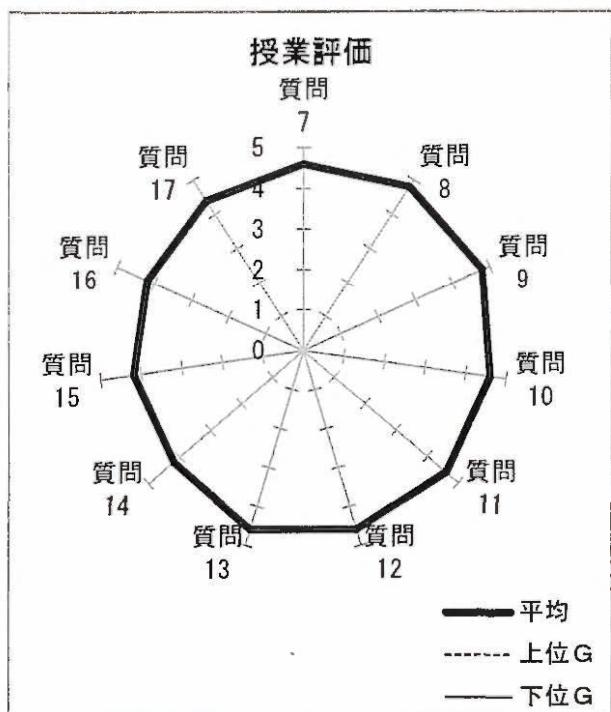


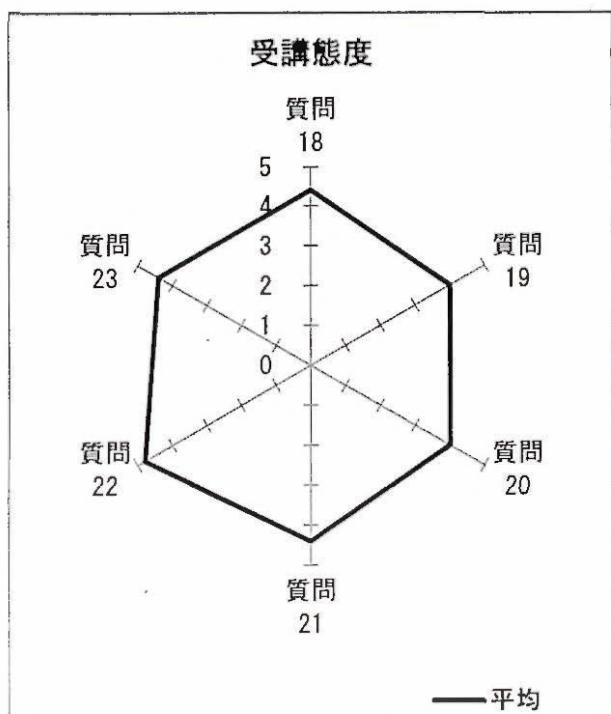
科目コード 321 (2017年度 後期)

文学部 人間関係学科 園井 ゆり 社会学概論Ⅱ



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.6	4.6	#DIV/0!
質問 8	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 9	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 10	4.6	4.6	#DIV/0!
質問 11	4.6	4.6	#DIV/0!
質問 12	4.6	4.6	#DIV/0!
質問 13	4.6	4.6	#DIV/0!
質問 14	4.2	4.2	#DIV/0!
質問 15	4.2	4.2	#DIV/0!
質問 16	4.2	4.2	#DIV/0!
質問 17	4.4	4.4	#DIV/0!
平均	4.5	4.5	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.4
質問19	4.0
質問20	4.0
質問21	4.4
質問22	4.8
質問23	4.4
平均	4.3

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係	園井ゆり	社会学概論 II	5

2017年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

I. 分析と評価

1) 授業評価

社会学概論IIでの講義テーマは、近代家族の形成とその変容に関する社会学的考察である。

この授業では、落合恵美子著『21世紀家族へ（第3版）』2004に依拠し、戦後以降日本において主流であった近代家族がどのように形成され、また変容しているかを、データ分析を用いて考察した。授業評価では全体的傾向として、いずれの質問項目も平均値がおおむね4.5以上であり、良好な授業が展開できたのではないかと推察される。今回、特に評価された項目として、問8「教員の授業時間厳守」、問9「教員の話し方」、問10「教材・機器・板書などの効果的な使用」、問11「教員の説明のわかり易さ」、問12「教員の授業環境に対する配慮」等が挙げられる。今回の授業テーマは、高度経済成長期における産業構造ならびに人口構造の転換に関する内容、出生率・一戸別女性労働力率分析等、難解な課題も含まれていたが、少人数の授業であったことから、学生の反応に対応して授業を進めることができたのではないかと考える。

一方で、改善が必要な項目として、問15「（自分は）授業を理解できたと思うか」、問16「授業は興味・関心・意欲を引き出したか」については4.2であり、改善の必要がみられた。改善案として、問15については、質問の機会をさらに充実させ、学生からのフィードバックや、学生のコメントを取り入れる等行いたい。問16については例えば、家族形態の変化に関する新聞記事等をさらに活用することで、学生の興味関心に少しでも訴える方法で授業を進めていきたい。

2) 受講態度

受講態度については、ほとんど全ての項目で4点台であった。例えば、問18「（自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか」(4.4)、問22「レポート・課題に積極的に取り組んだか」(4.8)、問21「授業の予習・復習をおこなったか」(4.4)、問23「私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴」(4.4)において高得点であった。一方、問20「欠席回数」については4.0であった。今回の受講態度を総括すると、例年得点が低い傾向にある授業の予習、復習については、レポート課題をこまめに課す、教科書を事前に読むよう指示する等したことが有効に働いたようである。一方で、遅刻、欠席が目立つ学生もいた。今後は個別指導をより丁寧に実施し、授業管理を向上させたい。

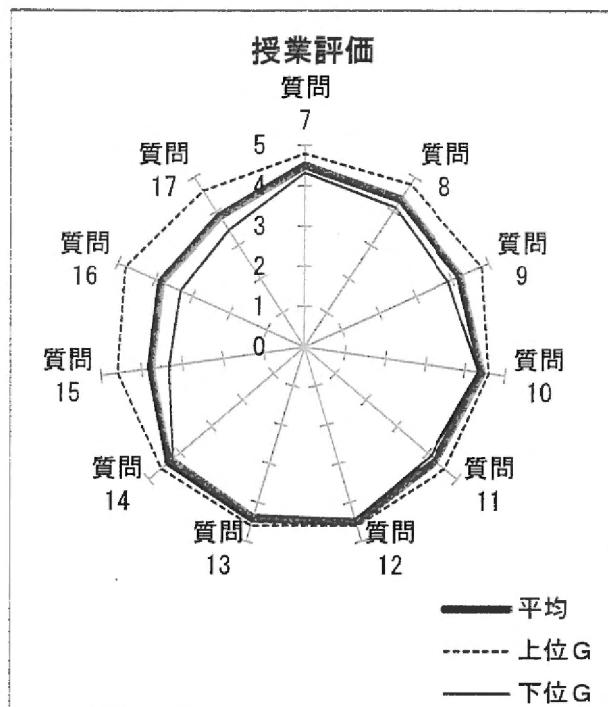
II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：社会学概論 II

2018年度は特に「授業評価」において、平均値の低かった項目に関し、努力研究を行い、授業運営のさらなる向上を目指したい。学生の理解度をはかりながら授業の難易度や授業の分量を考えるなど、学生の主体的な学びに力点をおき、学問に対する意欲を喚起するような授業運営を志したい。

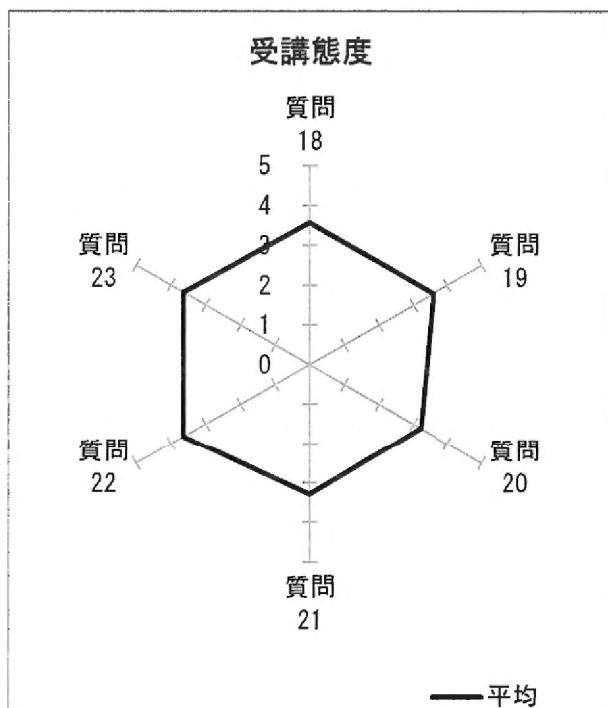
科目コード 330 (2017年度 後期)

文学部 人間関係学科 細井 浩志 世界史基礎 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問7	4.5	4.8	4.3
質問8	4.4	4.8	4.1
質問9	4.2	4.8	3.9
質問10	4.4	4.6	4.3
質問11	4.3	4.6	4.1
質問12	4.5	4.6	4.4
質問13	4.4	4.6	4.3
質問14	4.4	4.6	4.2
質問15	3.8	4.6	3.3
質問16	3.9	4.8	3.3
質問17	3.9	4.6	3.4
平均	4.2	4.7	4.0

- 質問7：授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問8：教員の授業時間遵守
 質問9：教員の話し方
 質問10：教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11：教員の説明のわかり易さ
 質問12：教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
 質問13：質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14：学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15：（自分は）授業を理解できたと思うか
 質問16：授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17：新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	3.6
質問19	3.6
質問20	3.2
質問21	3.3
質問22	3.6
質問23	3.6
平均	3.5

- 質問18：（自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19：授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20：欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）
 質問21：授業の予習・復習をおこなったか
 質問22：レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23：私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	細井浩志	世界史基礎Ⅰ	15

2017年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

上位Gは全実施科目平均値並の4.7、下位Gは全実施科目（3.7）よりよい4.0でしたが、上下全体は4.2で全実施科目4.6より下回ってしまいました。残念です。

質問15～17で全実施科目の下でした。質問11「説明のわかりやすさ」が下位Gで全実施科目（3.8）より高い4.1でしたが、質問15「授業が理解できた」が3.3なのは、個々の説明は分かっても、全体的なイメージがつかめなかつたということでしょうか。そうだとしたらそれぞれの時代の知識と、全時代を通じての歴史の流れの関係について、学生の認識を再確認する必要があると思います。

ただし受講態度を見ると、全実施科目より、すべての項目で0.5以上下回っていますね。受講生の皆さんももっとがんばって下さい。

II. 2018年度に向けての取り組み

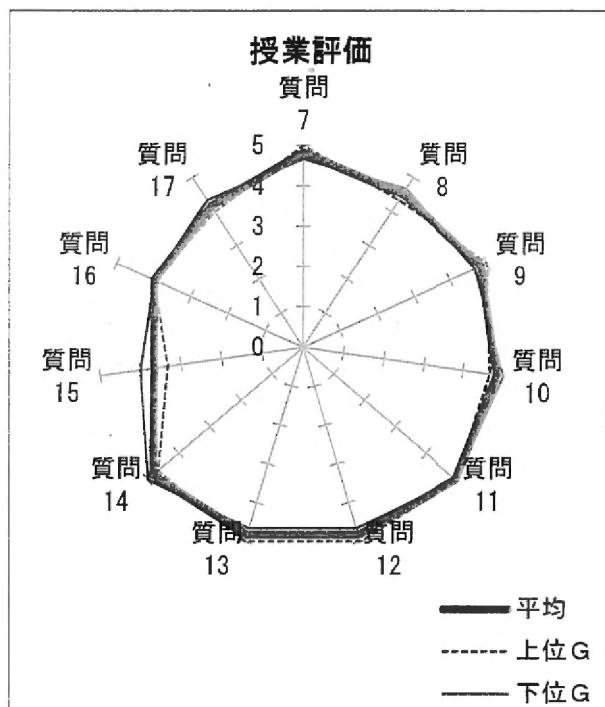
2018年度担当予定科目名：世界史基礎Ⅰ

（同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。）

学生の反応は授業中、気をつけていますが、授業最後に行う小テストの評価の仕方などを考えた方がよいかもしれません。

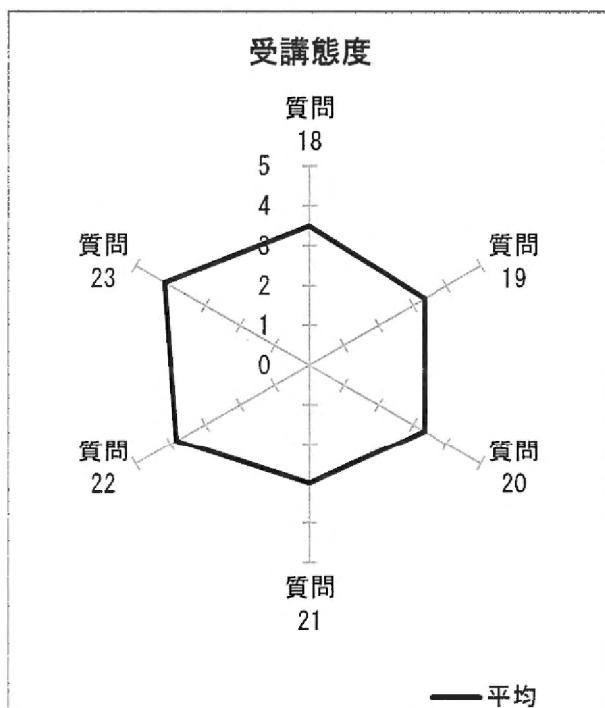
科目コード 331 (2017年度 後期)

文学部 人間関係学科 細井 浩志 日本史講義Ⅱ



質問項目	平均	上位G	下位G
質問7	4.8	5.0	4.7
質問8	4.5	4.3	4.7
質問9	4.8	5.0	4.7
質問10	4.8	4.7	5.0
質問11	5.0	5.0	5.0
質問12	4.8	5.0	4.7
質問13	4.8	5.0	4.7
質問14	4.8	4.7	5.0
質問15	3.7	3.3	4.0
質問16	4.0	4.0	4.0
質問17	4.2	4.0	4.3
平均	4.6	4.5	4.6

- 質問7：授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問8：教員の授業時間遵守
 質問9：教員の話し方
 質問10：教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11：教員の説明のわかり易さ
 質問12：教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
 質問13：質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14：学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15：（自分は）授業を理解できたと思うか
 質問16：授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17：新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	3.5
質問19	3.3
質問20	3.3
質問21	3.0
質問22	3.8
質問23	4.2
平均	3.5

- 質問18：（自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19：授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20：欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）
 質問21：授業の予習・復習をおこなったか
 質問22：レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23：私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	細井浩志	日本史講義Ⅱ	7

2017年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

全実施科目平均値とくらべると、全体平均は同じで、上位Gが4.5と0.2低く、下位Gが4.6と0.9高く出ました。長崎県の歴史を、テキストとスライドをフルに使って説明しましたので、質問9～11は評価が高いですね。ただし質問15「自分は理解できたか」が、上位Gで3.3だったのは残念でした。もっとも下位Gは4.0なので、上位の受講生は自分に厳しかったのでしょうか。

受講態度は、全実施科目平均値よりも多くの項目で1.0前後低いのは残念です。心理学を学ぶ学生には、地域の歴史はややモーティベーションが低くなるのかもしれません。でも受講するからにはそれではいけませんよ。

II. 2018年度に向けての取り組み

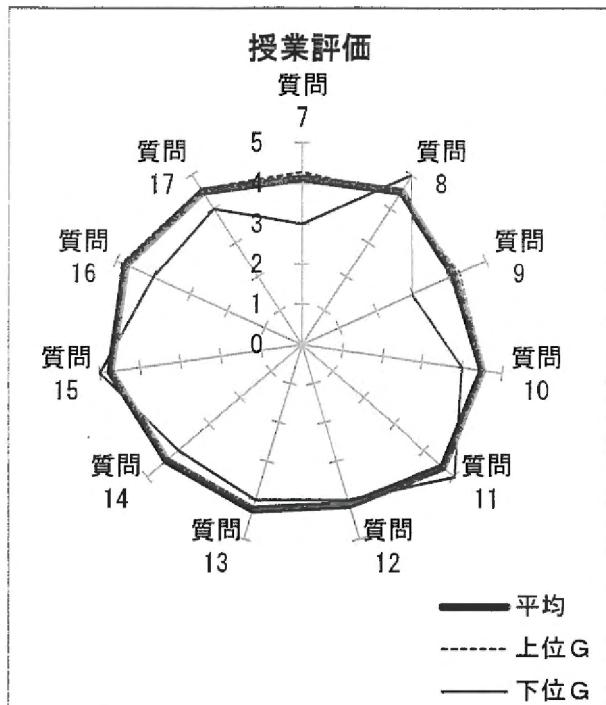
2018年度担当予定科目名：日本史講義Ⅱ

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

人間関係学科の心理学を学ぶ学生に、長崎県の歴史を学ぶということをどう動機付けするのか、考えます。

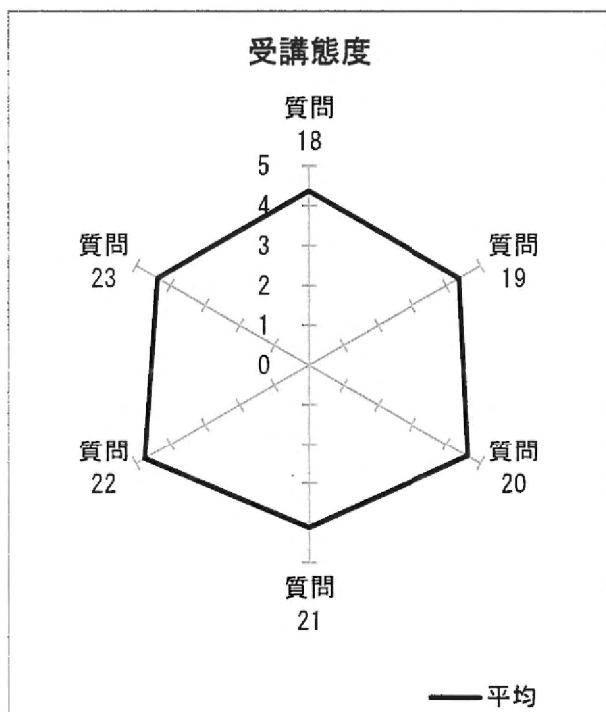
科目コード 340 (2017年度 後期)

文学部 人間関係学科 光富 隆 人間関係基礎セミナーIV



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.1	4.3	3.0
質問 8	4.5	4.4	5.0
質問 9	4.1	4.3	3.0
質問10	4.5	4.6	4.0
質問11	4.6	4.6	5.0
質問12	4.1	4.1	4.0
質問13	4.3	4.3	4.0
質問14	4.4	4.4	4.0
質問15	4.8	4.7	5.0
質問16	4.8	4.9	4.0
質問17	4.5	4.6	4.0
平均	4.4	4.5	4.1

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.4
質問19	4.4
質問20	4.6
質問21	4.1
質問22	4.8
質問23	4.4
平均	4.4

- 質問18 : （自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係	光富隆	人間関係基礎セミナーIV	13人

2017年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

授業評価に関して：全体的に見ると、良いと思う。しかし、教員の説明のわかり易さと教員の授業環境に対する配慮の点で得点が低い。教員の説明のわかり易さに関しては、以下の理由から得点が低くなつたと考えられる。1つは説明するときに、ゆっくりとしゃべらずに早口でしゃべったことが上げられる。もう1つは具体例を挙げずに抽象的な話をしたことが上げられる。また、説明する際にパワーポイントやスライドなどの視聴覚教材を用いずに一方的にしゃべったことが上げられる。

さらに、教員の授業環境の配慮の得点が低いのは以下のようない由が考えられる。授業中に携帯をいじったり、私語をしている学生に厳しく接せず、そのままにしていたことが考えられる。

受講態度に関して：全体的に見ると、良いと思う。しかし、授業の予習・復習の箇所で得点が低くなつてゐる。この点に関しては以下の理由が考えられる。授業に関しては、毎回プリントを配り、授業の中で教員が説明する形態をとつた。したがつて、授業の予習ができるような状態ではなかつた。復習に関しては、するように言わなかつたことが上げられる。

II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：人間関係基礎セミナーIV

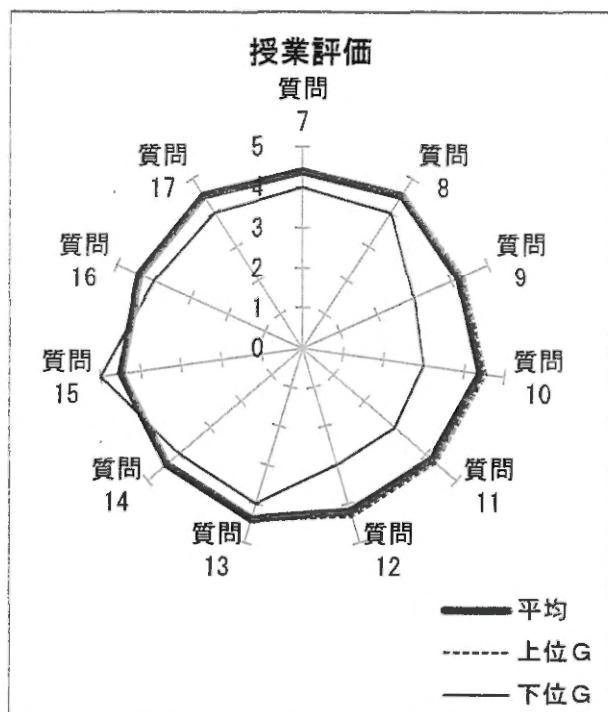
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

授業環境に関する配慮得点が低かつたので、この点を注意したい。具体的には、携帯をいじつている学生や私語をしている学生に厳しく接したい。また、これは教員の説明の仕方がわかりにくかつたこととも関係するが、学生が私語をしないように、また説明の仕方を工夫しながら、魅力的な授業をすることが必要であると考えられる。特に、視聴覚教材を用いながら、ゆっくりと話し具体例を上げながらわかりやすい説明をしていきたい。

また、授業の予習・復習に関しては以下の点に注意したい。特に、復習に関しては覚えないでいいので、空き時間にプリントをみて書いていることが理解できるように教示したい。

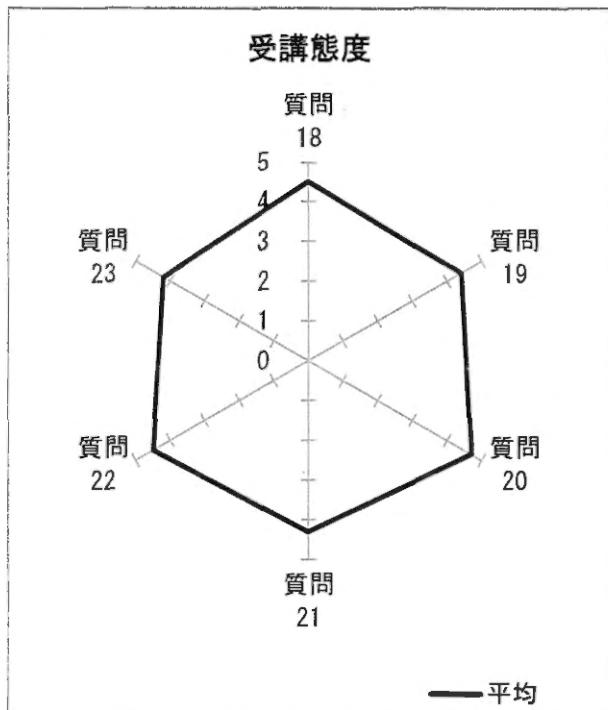
科目コード 341 (2017年度 後期)

文学部 人間関係学科 光富 隆 心理学実験IV



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.4	4.4	4.0
質問 8	4.5	4.6	4.0
質問 9	4.2	4.3	3.0
質問10	4.4	4.6	3.0
質問11	4.2	4.3	3.0
質問12	4.2	4.3	3.0
質問13	4.4	4.4	4.0
質問14	4.4	4.4	4.0
質問15	4.5	4.4	5.0
質問16	4.4	4.4	4.0
質問17	4.5	4.6	4.0
平均	4.4	4.4	3.7

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・关心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.5
質問19	4.4
質問20	4.7
質問21	4.3
質問22	4.5
質問23	4.2
平均	4.4

- 質問18 : （自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係	光富隆	心理学実験IV	13人

2017年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

授業評価に関して：全体的に見て、良いと思う。しかしながら、質問機会の配慮に関する得点と教員の授業環境に関する配慮の得点が低い。質問機会の配慮に関しては、学生のことを考えずにハイピッチで授業をやったためと考えられる。また、授業環境の配慮に関しては、授業中に教室内逸脱行動をとっても厳しく接しなかったことが考えられる。

受講態度に関して：全体的に見て良いと思う。しかしながら、授業の予習・復習の欄が得点が低くなっている。この授業は実験をして、レポートを書く授業で、毎回予習・復習するように言わなかったことが考えられる。

II. 2018年度に向けての取り組み

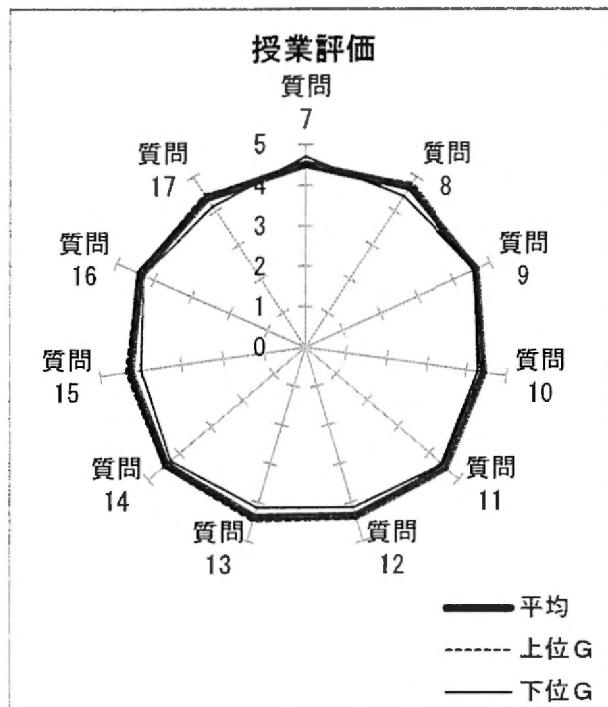
2018年度担当予定科目名：心理学実験IV

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。) 質問機会の配慮が足りなかつたので、できるだけゆっくりとしたペースで授業を進めながら、質問があるかどうかを確認しながら授業を進めるようにしたい。また、学生が質問をどんどんする魅力的な授業を行いたい。視聴覚教材を用いたり、ビデオなどを用いて魅力的な授業を展開していきたい。

また、授業環境の配慮に関しては、教室内逸脱行動が生じたとには厳しく接したい。また、教室内逸脱行動が生じないような魅力的な授業をするように心がけたい。さらに、授業の予習・復習に関しては以下の点を注意したい。特に、復習に関しては次にやる実験の目的と方法に目を通しておくように教示したい。

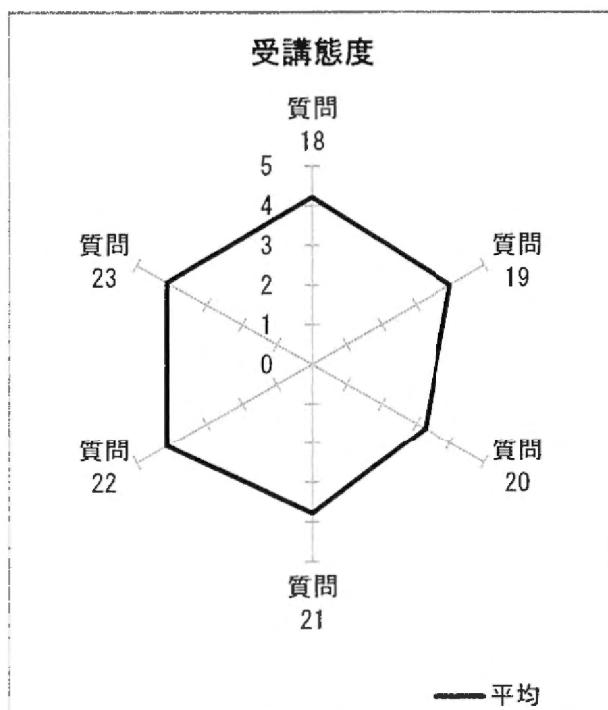
科目コード 362 (2017年度 後期)

文学部 人間関係学科 長尾 博 精神保健学Ⅱ・臨床心理学b



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.5	4.4	4.7
質問 8	4.7	4.8	4.4
質問 9	4.6	4.6	4.6
質問 10	4.4	4.5	4.3
質問 11	4.6	4.6	4.4
質問 12	4.3	4.4	4.1
質問 13	4.4	4.5	4.1
質問 14	4.4	4.5	4.3
質問 15	4.3	4.4	4.0
質問 16	4.4	4.4	4.3
質問 17	4.4	4.5	4.1
平均	4.5	4.5	4.3

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.2
質問19	4.0
質問20	3.3
質問21	3.8
質問22	4.1
質問23	4.1
平均	3.9

- 質問18 : （自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	長尾 博	精神保健学II・臨床心理学b	16

2017年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

受講生が少なく、そのため、集中できる授業であったのであろう。

II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：心理面接法

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

カウンセリングのワーク授業は、学年によって大変興味のある者からワークをしてもやる気のない者まで異なることから、どのような方法（ワークの進め方）を行うとどのような学生にもワークに興味がもてるのかをもう少し考えていただきたい。